



埋文だより

第39号

平成17年10月24日発行



せんしこだい

かごしまの先史古代の暮らしと文化を紹介

ちいきはぐく けんみんしゅうかん とくべつきかく
地域が育む「かごしまの教育」 県民週間 特別企画

当センターでは、地域が育む「かごしまの教育」県民週間（11月1日～11月7日）に合わせて、かごしま県民交流センターでのサテライト展示を企画しました。県民の皆様は埋蔵文化財に親しんでいただけるよう、近年、県内の発掘調査で出土した土器の実物などを展示し、先史・古代の人々の暮らしと文化を紹介しています。ぜひご覧ください。



かごしま県民交流センター
1F交流サロン(生涯学習コーナー)
平成17年10月5日～11月27日

○開館時間:午前9時～午後5時まで
○休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

目次

- ・かごしまの先史古代の暮らしと文化を紹介 … 1
- ・「出かけませんか?調査中の遺跡へ」 … 2
- ・見て、触れて、学んだ考古学の世界 … 3
- ・シリーズ「センターの仕事」道具と発掘作業 … 4
- ・速報!発掘調査 … 5
- ・九博開館 県内の出土品鹿児島から福岡へ 他… 6

地域が育む「かごしまの教育」県民週間 遺跡現地説明会

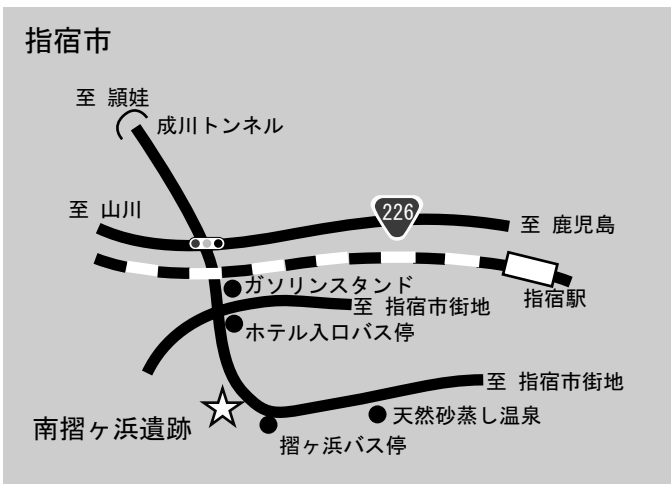
「出かけませんか？調査中の遺跡へ」

みなみ すり が はま いぶ すき
南摺ヶ浜遺跡(指宿市)
 こ ふん
古墳時代(約1700年前)



南摺ヶ浜遺跡は、昭和38年の土地造成に伴う工事中に古墳時代の土器や須恵器、石器などが発見されて、遺跡であるということが分かりました。昭和44年には隣接地で土器や石器が発見され、その後、指宿市教育委員会が行った調査では、古墳時代の土壇墓が発見されました。

今年9月から開始した調査では、古墳時代の成川式土器の壺が完全な形で見つっています。昨年度、指宿市教育委員会が実施した調査では、縄文時代晩期の遺物も見つっており、今後の調査で、縄文時代の生活の跡が見つかるのではないかと期待されています。



日時 平成17年11月5日(土)
 1回目午前10時～, 2回目午後2時～
 連絡先 TEL 0993 (23) 4955

たて やま そ お
建山遺跡(曾於市)
 じょう もん
縄文時代(約9000年前)



建山遺跡は、東九州自動車道の末吉財部 I.C～鹿屋串良 I.C 間の建設に伴って、今年8月から調査が始まった遺跡です。まだ詳しい内容は分かっていませんが、これまでに縄文時代早期や晩期の土器や石器などが見つっています。また、遺跡のある場所には火山の爆発で積もった火山灰が何層も堆積していて、過去の火山活動の様子がよく観察できます。広い範囲を発掘するので、昔の人々の生活の跡がどんなどころに残されているのか、とても楽しみな遺跡です。



日時 平成17年11月12日(土)
 1回目午前10時～, 2回目午後2時～
 連絡先 TEL 0994 (83) 1585

見て、触れて、学んだ考古学の世界

中学生の職場体験学習



7月6、7日に、職場体験学習として国分南中学校の生徒6名が訪れました。1日目は土器の水洗いや接合などを、2日目は実測などをセンターで働いている作業員さんと一緒に体験しました。働くことの大切さや仕事の実際など、学校の授業では経験できない多くのことを学んだようです。

パワーアップ研修

10年経験者研修の先生方を対象としたパワーアップ研修を、7月28、29日(小学校)・8月11、12日(中学校・高校)の日程で実施しました。センターの施設見学や業務体験、土器作りなどの古代体験に取り組みました。また、埋蔵文化財を用いた学習指導について、活発な討議もなされました。



新任教職員研修考古学講座

新任の先生方を対象とした講座を、8月17、18日の2日間にわたって実施しました。1日目はセンターで講義や拓本などの実習を行いました。2日目は川辺町にある堂園A遺跡の発掘調査現場の見学や、発掘体験、勾玉作りなども行いました。これらの体験等をおして、身近な文化財への関心が高まったようです。



フォローアップ研修

県内市町村の埋蔵文化財専門職員を対象としたフォローアップ研修を、7月6日～8日の3日間にわたって実施しました。1日目は講義、2日目は土器実測の実習、3日目は遺物写真の撮影実習が行われました。参加者は全員、真剣な表情で取り組んでいました。



【シリーズ】センターの仕事 発掘作業編(その2)

～道具と発掘作業～

遺跡の発掘では、状況に応じて様々な道具を使い分け、効率よく丁寧な作業を行っています。道具をとおして、作業の実際を紹介します。



掘る



スコップ(角型)
用途 土の壁(断面)をきれいにそろえる
使用頻度 ★



ねじり鎌
用途 土を薄く剥ぐように掘る
使用頻度 ★★



山ぐわ
用途 土を掘る
使用頻度 ★



手箕
用途 土を運ぶ
使用頻度 ★★★



ジョレン
用途 掘った土を集める
使用頻度 ★★★

運ぶ



一輪車
用途 土を運ぶ
使用頻度 ★★

移植ごて
用途 穴などを掘る
使用頻度 ★★



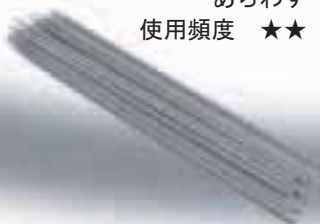
手ぼうき
用途 細かい土を集める
使用頻度 ★

取り上げる

剪定ばさみ
用途 木の根を切る
使用頻度 ★



竹串
用途 遺物の出た場所をあらわす
使用頻度 ★★



チャック袋
用途 微小な遺物を入れる
使用頻度 ★★

発掘で使う道具は、特別な道具ではありません。そのほとんどは、農作業や庭仕事で使われる道具と同じです。これらの道具を使い、ときには一気に掘り下げ、ときには慎重に土を取り除きながら、調査を進めていきます。



速報！発掘調査

ここでは今年度発掘調査を実施した縄文時代から古墳時代にかけての3遺跡を紹介します。

古墳時代の集落が出現

上水流遺跡（金峰町）万之瀬川河川改修に伴う発掘調査（県土木部）

上水流遺跡では、古墳時代の住居跡が昨年と今年の調査で合計11基確認されました。住居の中と周辺からは、大量の成川式土器のほか、南薩で初めての5世紀中頃の須恵器や勾玉等の装飾品なども出土し、万之瀬川沿いの当時の地形も確認されました。

住居跡の調査の様子



ここで料理を作っていました

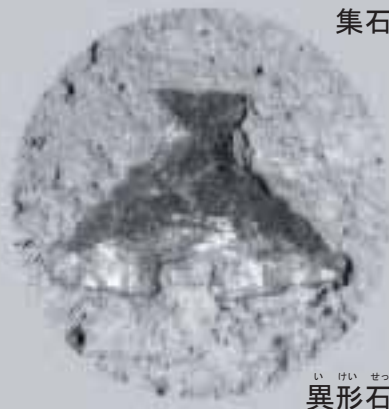
前畑遺跡（鹿屋市）一般国道220号鹿屋バイパス建設に伴う発掘調査（国土交通省）

前畑遺跡では、複数の集石と大量の礫が写真のように足の踏み場もないほど発見されました。これらは縄文時代早期の層から検出され、調理施設ではないかと考えられます。

このほかにも、用途不明の異形石器が同じ縄文時代早期の層から出土しました。



集石の検出作業の様子



異形石器の出土した状況

縄文時代の絵の具入れ？

関山遺跡（曾於市）東九州自動車道建設に伴う発掘調査（西日本高速道路株式会社）

曾於市末吉町にある関山遺跡では、縄文時代の変形撚糸文の深鉢が「入れ子」の状態出土しました。中にある小さい深鉢の中には赤色顔料が入っており、これを保存するために入れ子にしたのか、また、もともとは立っていたのかなどはわかっていませんが、縄文早期にはあまり出土例がないため注目されています。



出土した状況



中の小さい深鉢と赤色顔料



九
博
開
館

九州の出土品
鹿児島から福岡へ

ただいま出張中

今秋、福岡県太宰府市に九州国立博物館が開館し、10月16日から一般公開が始まっています。九州国立博物館は、東京・奈良・京都に次ぐ4番目の国立博物館です。九州初、また、108年ぶりの国立博物館ということもあり、開館前から注目を集めています。

この九州国立博物館に、曾於市末吉町の桐木耳取遺跡から土器など24種82点の資料が、特色のある南九州の縄文文化を知るためにとても重要であると評価され、展示されています。



展示されている鹿児島の出土品など

～企画展のご案内～



災害考古学展

火山と地震と洪水と
～上野原縄文の森 第13回企画展～

期 間：平成17年10月8日(土)～平成18年1月29日(日)

講演会：平成17年11月12日(土) 13：30～15：00

講師 新東晃一

(鹿児島県立埋蔵文化財センター次長)

場所 展示館内多目的ルーム

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。お近くにお越しの節はぜひお立ち寄りください。
埋蔵文化財センターのホームページは上野原縄文の森 (<http://www.jomon-no-mori.jp>) からお入りください。

埋文だより 第39号
発行日 平成17年10月24日
編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-4461 鹿児島県国分市上之段1175番地1
(合併のため平成17年11月7日から住所が変わります)
TEL 0995-48-5811・FAX 0995-48-5820
E-mail:maibun@jomon-no-mori.jp